

事業者向け児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価結果公表用

公表日:2023年 3月 1日

職員数 5 名 回収数 5 名 100 %

事業所名:リハビリ発達支援ルーム UTキッズ河合

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	職員の評価			職員の評価を踏まえた改善目標・工夫している点など
業務改善	1 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・目標シートをもとに、年3回面談し見直しをしています ・職員全員ではじっくり話す時間がなかなか取れないこともあります	はい 4 人	どちらとも いえない 1 人	いいえ 1 人	・日時を決めて、職員全員でなくてもミーティングを行っていきます
	2 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・アンケート結果について話し合いをしています ・頂いた意見を元に、できることを考えています	はい 4 人	どちらとも いえない 1 人	いいえ 人	・頂いた意見に対して検討を重ねていきます
	3 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・自己評価はホームページで公開しています ・よく知らないです	はい 4 人	どちらとも いえない 1 人	いいえ 人	・職員間で周知しながら継続していきます
	4 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		はい 人	どちらとも いえない 5 人	いいえ 人	
	5 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・研修時間の確保が難しいです ・希望があれば外部研修にもいけるようにしています ・学習会議等、会社主導ではあるが研修に参加しています	はい 4 人	どちらとも いえない 1 人	いいえ 人	・なるべく参加できるように時間の確保をしていきます ・人員の確保をお願いしていきます
	6 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	・半年ごとに保護者と面談して計画書を作成しています	はい 5 人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	・支援の中でさらにお子様の分析を行い、必要があれば保護者と話し合いを行って、計画書の変更をしていきます
	7 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・集団支援(S-M 社会生活能力検査)、学習支援(K-ABC II・WAVES)を行っています ・標準化されたアセスメントツールを知りません	はい 3 人	どちらとも いえない 2 人	いいえ 人	・事業所内で検査に関しての研修を行います
	8 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・担当職員が考えたことをチームで確認しています	はい 1 人	どちらとも いえない 4 人	いいえ 人	・引き続き年間プログラムの土台に沿って柔軟に対応していきます

9	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定枠なので、設定に特に変化はありません</li> <li>・課題の連続性と継続性を重視しており、長期休暇だから変えるということはありません</li> </ul>	はい 3人	どちらとも いない 1人	いいえ 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな変化はありませんが、長期休暇など変更枠で利用される際には、保護者にも変更のお声掛けをし、お子様との話し合いにより一部変更することもあります</li> </ul>
10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSTクラスのみ集団活動も含んでいます</li> <li>・クラスが固定されているので難しいです</li> <li>・子供の状況に応じて個室の利用をしています</li> </ul>	はい 2人	どちらとも いない 2人	いいえ 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子様のその日の状態に応じていつものクラスで参加できるかを確認し、プログラムの内容を伝えることで見通しをもってもらい、どのように過ごすのかをお子様と一緒に考えていきます</li> </ul>
11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の確保が困難の為、毎回十分ではありませんが、出来る時間を見つけて担当同士で話し合いを行っています</li> <li>・打ち合わせが必要な時は随時行っています</li> </ul>	はい 3人	どちらとも いない 2人	いいえ 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、短時間であっても打ち合わせは必ず行っています</li> <li>・指導員の変更がある場合も、支援内容は打ち合わせをしています</li> </ul>
12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の確保が困難です</li> <li>・気が付いた点があればミーティングの際に共有を行っています</li> <li>・特に問題があった時には、振り返りをしています</li> </ul>	はい 2人	どちらとも いない 3人	いいえ 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ早く共有するようにしていますが、早急に共有しなければならぬときは必ずその日のうちに行っています</li> </ul>
13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々記録は必ず記入しています</li> <li>・職員同士の声掛けで、検証・改善することがあれば話し合いをし、把握しています</li> </ul>	はい 5人	どちらとも いない 人	いいえ 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当制ではありますが、事業所に通っていただいている利用者様の情報を、職員全員で確認していきます</li> </ul>
14	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人支援では、運動・感覚や認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性などの組み合わせで支援を行っています。また、ビジョントレーニングも含めて支援しています</li> <li>・家族支援では、事業所内相談支援をしています</li> <li>・地域支援として、保育所等訪問支援を行っています</li> </ul>	はい 人	どちらとも いない 4人	いいえ 1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な要素を組み合わせ、ねらいを持って支援をしています</li> </ul>
15	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当制なので、対象のお子様のアセスメントを行った結果を用いて参画しています</li> </ul>	はい 4人	どちらとも いない 1人	いいえ 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者のみで考えるのではなく、事業所の職員で把握しながら進めていきます</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	16	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	・事業所で送迎をしていない為、学校との直接的なやり取りはしていません。	はい 1人	どちらとも いえ ない 4人	いいえ 人	・学校との直接の連絡は難しいですが、保護者より情報共有していただけるように努めていきます。
	17	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・該当者がいません	はい 人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 2人	・現在は該当者がいません
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・情報共有はあまり出来ていません。日常の支援の準備が忙しく、手薄になりがちです ・相談支援員を通して共有出来ているところはあります	はい 人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 5人	・相談支援員の方より、以前の様子を含めて情報共有をしていますが、今後も継続していきます
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・該当者はいません	はい 人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 2人	・現在は該当者がいません
	20	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		はい 人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 3人	
	21	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		はい 人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 5人	
満足度	22	子どもたちや保護者の方に寄り添い支援することを楽しめているか	・楽しめています ・寄り添っているつもりだが、楽しい時も苦しむときもあります	はい 4人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 人	・1人1人のお子様の強みを生かした支援を行っていきます ・保護者よりご相談があった場合も、話を伺い解決方法を一緒に考えていけるようにしていきます ・支援に悩んだ時には、1人で悩まずに他職員に相談したり検討したりして、より良い支援になるように工夫していきます
	23	事業所の支援に満足しているか	・まだまだ改善できることはあります ・一人ひとりの強みを生かした支援方法を今後も考えていきます ・満足しています	はい 2人	どちらとも いえ ない 3人	いいえ 人	これからも、一人一人に応じた支援ができるように常に考えていきます

## 児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 12名 回収数 7名 58%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ河合

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	活動によって、机や椅子をコンパクトにまとめたり個室に移動させたりして、スペースを確保し室内に置くものを最低限にしています。	はい 6人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	「子どもが走ったり、サーキットできるスペースがある」 →施設の構造上広さを変えることは出来ませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	保育士・作業療法士・児童指導員等すべての職種が関り情報を共有して、会議を行っています。また、研修に参加し専門性の向上に努めています。	はい 7人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「ご相談やアドバイス頂き、いつも心強く思います」 →引き続き、研修に参加し専門性の向上に努めています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	階段には滑り止めをつけて、外灯の設置をしています。手すりについては、今後検討が必要と考えています。	はい 3人	どちらとも いえ 2人	いいえ 2人	「施設の入口までの階段が、手すりや滑り止めの対策はされてはいますが、急斜なのでどうしても怖いです。 入り口の階段が急で先生方の協力があるから通えてますが、子どもにとっても危ないと感じます」 →階段については、設備上変更が困難となりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。
	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	保護者の方と共通理解をしたうえで、子どもたち一人ひとりの課題に沿って計画書の作成をしています。	はい 7人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「いつも子どもの事を本当に良く分析して頂けてるので、お預けする安心感があります。 「子どもの特性に応じた」 →今後も引き続き、事業所内相談や振り返りの時間に相談しやすい雰囲気作りに努めています。
適切な支援の提供	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	振り返り、計画書の聞き取りなどで、支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 6人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	「先生が常にローテーションするのも、変化があり成長の上で良い刺激になっていると感じます」 「毎回違うのはもちろん、一つずつ積み重ねていってもらえてると思う」 「ある程度慣れも必要だとは感じますが、する順番が違ったり工夫してくれているのは子どもの声を聞いていても分かります」 →同じような活動は、子どもたちが安心して取り組める活動であり、見通しが持ちやすく、取り組みやすいと考えています。その中で一人ひとりに合わせて、レベルアップを行いながら、楽しめるように工夫しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域のイベントや活動の情報があるときは、お知らせボードにて貼り出しています。事業所としては、現在交流会の機会は設けていません。	はい 1人	どちらとも いえ 3人	いいえ 3人	「都合上いけませんでした、楽しそうなイベントがありました」 「知らない」 →事業所としては、現在交流会の機会は設けていません。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 7人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「いつもご報告や説明をいただけてます」 「十分な説明があった」 →今後も説明してお渡しできるように努めています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	保護者の方と子どもの状況や課題について共通理解をしていけるように努めています。	はい 7人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	「いつもご報告や説明をいただけてます」 「いつも丁寧に説明いただいています」 →今後も共通理解ができるように努めていきます。
	9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅でできる工夫などをお伝えできるように努めています。	はい 人	どちらとも いえ ない 7人	いいえ 人	「療育中の見学が出来る等、子どもと先生とのやり取りが見れる機会があれば(ガラス越し見学など)、もっと先生から吸収出来る事が増えると思っています」 「知らない」 →UTキッズ河合は基本的には分離の事業所になります。換気のためにあけている部屋の入口から短時間なら見て頂くことは可能です。
	10	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	事業所内相談支援の利用を提案したり、モニタリング時に面談や助言を行っています。	はい 6人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 人	「ご相談すれば、いつでもアドバイスいただけてます」 「二ヶ月に一度面談があり、相談しやすい」 →困りごと等がある際に、相談できる環境を整えていきます。
	11	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	新型コロナウイルスの渦が終息したら、開催できるように考えています。	はい 1人	どちらとも いえ ない 4人	いいえ 2人	「私自身が交流が苦手なので、そういった支援があるのか知りません」 「個別療育なのでわからない」 →新型コロナウイルスの影響により、開催が難しい状態となっておりますが、終息後には開催できるように努めていきます。
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応しています。	はい 5人	どちらとも いえ ない 2人	いいえ 人	「まだその経験はない」 「先生方が出来る限りスムーズに協力して下ってるので助かってます」 →何かありましたら対応させていただきますのでお気軽にご連絡頂ければと思います。
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 6人	どちらとも いえ ない 1人	いいえ 人	「いつも十分してもらっています」 →今後も職員間の報告・連絡・相談を徹底していけるようにし、伝達の漏れがないように努めていきます。また、職員一人ひとりが自分の言葉に責任をもち、寄り添いながら対応できるように努めていきます。
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的にホームページのブログ等で活動概要、ホワイトボードなどで行事のお知らせを掲載しています。	はい 7人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	
15	個人情報に十分注意しているか	個人情報や名前の入った書類等がシュレッダーにかけ、個人情報の保護に努めています。引き続き十分に注意しながら取り扱いを行っています。	はい 7人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人		
非常時等	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	保護者室に作成したマニュアルを閲覧できるように備えています。	はい 7人	どちらとも いえ ない 人	いいえ 人	

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 対 応	17	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要な訓 練が行われているか	火災・地震・防犯訓練を行っており、支援室・保護者室に 掲示しています。子どもたちには、支援時に周知していま す。	はい 6人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	「知らない」 →避難訓練後に保護者室と支援室に掲示してお知らせさせて いただいています。
	18	虐待を防止するための職員研 修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を 行っています。	/			
	19	やむを得ず身体拘束を行う場合 における組織的な決定と、子ど もや保護者に事前に十分に説 明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイ サービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。現在 は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設け ており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発 生した場合には計画への反映と十分な説明を行っていま す。				
	20	食物アレルギーのある子どもに 対する医師の指示書に基づく適 切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲 食が発生する場合は保護者にアレルギーの確認を行っ た上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただしていま す。(現在は、新型コロナウイルスの影響で、飲食はして いません。)				
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び 事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然 に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、 各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。				
22	子どもは通所を楽しみにしてい るか	支援に来てくれている子どもたち全員が、「楽しい」や「で きた」を感じていただけるように努めています。	はい 6人				どちらとも いえない 1人
満 足 度	23	事業所の支援に満足しているか	支援に来てくれている子どもたち全員が、「楽しい」や「で きた」を感じていただけるように努めています。	はい 6人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	「子どもの成長を目の前で感じています」 「より期待が出来ると感じているところもあるので」 「先生方のスタッフ間の関係も凄く良く、楽しそうに感じています。 非常に雰囲気良く、日々通わせるこちらも楽しみです」 「子どもの成長を目に見て分かるくらいなので、ロコミ通り人気の 理由がわかるのですが、待機の期間が果てしないので、もう少し 回ってきやすくなるとありがたいなと思います」 →何か不明な点がありましたら、いつでもご相談下さい。今後も質 の向上をしていけるように努めていきます。また、待機期間につい ては長くお待ちいただき申し訳ございません。すこしでも早くご利用 いただけますように職員一同努めてまいります。

## 放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 59名 回収数 24名 40%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ河合

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	活動によって、机や椅子をコンパクトにまとめたり個室に移動させたりしてスペースの確保をし、室内に置くものを最低限にしています。	はい 19人	どちらとも いえない 4人	いいえ 1人	「たまに室内で複数人で遊ぶ時は狭いような気がする」 「全体的に狭く感じる」 →施設の構造上広さを変えることは出来ませんが、支援内容に合わせて、机や椅子を片付けスペースを確保して対応していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	保育士・作業療法士・児童指導員等すべての職種が関り情報を共有して、会議を行っています。また、研修に参加し専門性の向上に努めています。	はい 21人	どちらとも いえない 3人	いいえ 人	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	階段には滑り止めをつけて、外灯の設置をしています。手すりについては、今後検討が必要と考えています。	はい 6人	どちらとも いえない 12人	いいえ 6人	「入口の階段が危ない」 「外の階段が急である」 「階段が急で怖い」 →階段については、設備上変更が困難となりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	保護者の方と共通理解をしたうえで、子どもたち一人ひとりの課題に沿って計画書の作成をしています。	はい 23人	どちらとも いえない 1人	いいえ 人	「本人の気持ちを汲んで頂きながら分析してもらい作成して頂かれています」 →今後も引き続き、事業所内相談や振り返りの時間に相談しやすい雰囲気作りにも努めていきます。
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	振り返り、計画書の聞き取りなどで、支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 19人	どちらとも いえない 5人	いいえ 人	「毎回違う内容で本人のしたい事も組み込んでしてくれているので助かります」 「いつも同じ、ほぼ変わらないです」 →引き続き、職員間で話し合いながら共通理解をしていけるように努めていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域のイベントや活動の情報があるときは、お知らせボードにて貼り出しています。事業所としては、現在交流会の機会は設けていません。	はい 5人	どちらとも いえない 7人	いいえ 12人	「分からない」 「個別指導の為無いです」 →事業所としては、現在交流会の機会は設けていません。今後、必要性ができましたら交流の機会を設けていきます。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 21人	どちらとも いえない 2人	いいえ 1人	「よくわからないまま請求されている気がする」 →請求書や領収書をお渡しするときに、言葉を添えてお渡しさせて頂きます。また、何か不明な点がありましたらいつでもご相談下さい。

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	保護者の方と子どもの状況や課題について共通理解をしていけるように努めています。	はい 21人	どちらとも いえない 3人	いいえ 人	「いただく紙には様子は書かれているが表面上のことばかりに思う」 「毎回聞いて頂いているので安心」 →引き続き、共通理解ができるように努めていきます。
	9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅でできる工夫などをお伝えできるように努めています。	はい 13人	どちらとも いえない 5人	いいえ 6人	
	10	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	事業所内相談支援の利用を提案したり、モニタリング時に面談や助言を行っています。	はい 21人	どちらとも いえない 1人	いいえ 2人	「相談してもあまり答えてもらえない」 →困りごと等がある際は、相談できる環境を整えていきます。また、職員全員で共有して返事をさせていただきます。
	11	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	新型コロナウイルスの渦が終息したら、開催できるように考えています。	はい 4人	どちらとも いえない 12人	いいえ 8人	「個別指導の為ない」 →新型コロナウイルスの影響により、保護者勉強会等の開催が難しい状態となっていますが、終息後には開催できるように努めていきます。
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応しています。	はい 15人	どちらとも いえない 9人	いいえ 人	「苦情学校ないのでどちらともいえない」 →何かありましたら対応させていただきますのでお気軽にご連絡頂ければと思います。
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 22人	どちらとも いえない 1人	いいえ 1人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的にホームページのブログ等で活動概要、ホワイトボードなどで行事のお知らせを掲載しています。	はい 12人	どちらとも いえない 10人	いいえ 2人	
非常時等	15	個人情報に十分注意しているか	個人情報や名前の入った書類等がシュレッダーにかけ、個人情報の保護に努めています。引き続き十分に注意しながら取り扱いを行っています。	はい 24人	どちらとも いえない 人	いいえ 人	
	16	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	保護者室に作成したマニュアルを閲覧できるように備えています。	はい 17人	どちらとも いえない 5人	いいえ 2人	「分からない」 →今後も訓練後には、支援室・保護者室に貼り出し致しますのでご確認ください。また、玄関先にも設置致します。

の 対 応	17	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出、その他必要な訓 練が行われているか	火災・地震・防犯訓練を行っており、支援室・保護者室に 掲示しています。子どもたちには、支援時に周知していま す。	はい  18人	どちらとも いえない 4人	いいえ  2人	
	18	虐待を防止するための職員研 修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を 行っています。	/			
	19	やむを得ず身体拘束を行う場合 における組織的な決定と、子ど もや保護者に事前に十分に説 明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイ サービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。現在 は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設け ており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発 生した場合には計画への反映と十分な説明を行っていま す。	/			
	20	食物アレルギーのある子どもに 対する医師の指示書に基づく適 切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲 食が発生する場合は保護者にアレルギーの確認を行っ た上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただしていま す。(現在は、新型コロナウイルスの影響で、飲食はして いません。)	/			
	21	ヒヤリハット事例集の作成及び 事業所内での共有の徹底	発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然 に防ぐ努力をしています。また安全管理委員会により、 各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/			
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしてい るか	支援に来てくれている子どもたち全員が、「楽しい」や「で きた」を感じていただけるように努めています。	はい  20人	どちらとも いえない 4人	いいえ  人	
	23	事業所の支援に満足しているか	支援に来てくれている子どもたち全員が、「楽しい」や「で きた」を感じていただけるように努めています。	はい  23人	どちらとも いえない 1人	いいえ  人	「特に無し」 →何か不明な点がありましたら、いつでもご相談下さい。また、質 の向上をしていけるように努めていきます。

## 保育所等訪問支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2023年 3月 1日

保護者等数 7名 回収数 1名 14%

事業所名: リハビリ発達支援ルーム UTキッズ河合

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
体制整備	1	職員の配置数や専門性は適切であるか	保育士・作業療法士すべての職種が関り情報を共有して会議を行っています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	2	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画が作成されているか	引き続き保護者の方と共通理解をしたうえで、子どもたち一人ひとりの課題に沿って計画書の作成をしています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
適切な支援の提供	3	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	計画書は、子どもたち一人ひとりの課題に沿って必要な支援を設定しています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	4	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	子どもたち一人ひとりの課題に沿って柔軟に支援しています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「本人に分かりやすいように支援の提供をしてくれている」 →今後もニーズにあった支援ができるように努めていきます。
	5	支援内容が固定化しないよう工夫されているか	振り返り、計画書の聞き取りなどで、支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	7	保育所等訪問支援計画・居宅訪問型児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	8	保護者に対して家族支援が行われているか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「親にも学校訪問後からの説明がありそらを踏まえての親へも本人に対する支援の説明してくれる」 →今後も継続し、より向上できるようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明等	9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	振り返りで支援の方向性を伝え、共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「毎回訪問日からお伝えして下さり学校訪問の内容を別日にて教えて頂けるので助かります」 →今後も継続し、より向上できるようにしていきます。
	10	定期的に保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	事業所内相談支援の利用を提案したり、モニタリング時に面談や助言を行っています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	11	保護者会の活動の支援や保護者懇談会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	新型コロナウイルスの影響により、開催が難しい状態になっていますが、終息後には開催できるように努めています。	はい 人	どちらとも いえ 人	いいえ 1人	
	12	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情等の対応についてはスタッフ共々、今後同じ事項が起こらないよう周知すると共に改善や修正については上層部と相談した上で迅速に対応しています。	はい 人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	
	13	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	支援の方向性を伝え共通理解をしていけるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
	14	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的にホームページのブログ等で活動概要、ホワイトボードなどで行事のお知らせを掲載しています。	はい 人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	
	15	個人情報に十分注意しているか	個人情報や名前の入った書類等はシュレッダーにかけ、個人情報の保護に努めています。引き続き十分に注意しながら取り扱いを行っています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	
満足度	16	子どもは支援を楽しみにしているか	子どもひとり一人に寄り添い、必要なプログラムを提供できるように努めています。	はい 人	どちらとも いえ 1人	いいえ 人	「訪問なので本人理解なげくるのか理解してない」 →本人に声をかけさせて頂き、学校での頑張りを見せてもらったり先生と話をしたりすることなどを伝えていきます。
	17	事業所の支援に満足しているか	子どもたちや保護者の方に満足して頂ける支援になるよう、知識や技術を向上し、スタッフ全員が同じように対応できるように努めています。	はい 1人	どちらとも いえ 人	いいえ 人	「本人がより良く学校で楽しく過ごせるように学校に支援提供をしていただける事がとてもありがたいです」「先生への提供もですが親への提供も又してくれるのでありがたいのですが長くても三年しか支援していただけないのが残念です」 →UTキッズは社会へ向けて歩んでもらえるよう送り出すことも支援の1つと考えています。そのお手伝いを少しでもできるように今後もスキルアップしていきます。